

はじめに

校長 三宅 聖子

本校は自然豊かな小高い丘の上にあります。毎年春になると、丘の上にフアイルを手に歩く新入生の姿が見られます。これは本校に56年間在職された佐藤清明先生が戦前から取り組まれ受け継がれた清心の生物の授業です。卒業生の思い出にも、木々の名前を知り、校庭の植物図を描き、植物を観察したり採集したりする主体的な学習が楽しかったことが多く語られています。実は生物のこの授業は、知られざる本校の伝統であり、現在の先進的な科学教育につながる原点と言えるのではないかと思います。

清心女子高等学校は、2006年にスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けました。今号では、その第1期と第2期10年間の取り組みを振り返りました。その中心となる「生命科学コース」を立ち上げ、本校のSSHの全体像と方向性を構築した秋山繁治先生（現南九州大学教授）を得たことは、大変幸いなことでした。第1期では、教育プログラムの開発を目指し、第2期では、他校との交流や社会への情報発信を行いました。また、伝統の英語教育を生かした科学英語の授業や研究会、海外の大学等との研究交流と、グローバル教育としても成長してまいりました。

SSH第3期・第4期では、第1期・第2期の優れた構想と成果に学び、さらに全教科に、また中学生に豊かな教育活動として拡大浸透してきております。一部の生徒でなく、清心に学ぶすべての生徒にとって「課題研究」は日常の学びの核になってきており、生徒と共に学び指導する教員の育成にも貢献しております。

今年創立135年を迎えた本校は、世界17か国に広がるノートルダム学びの共同体が共有する“Educating for Life”（人として生きるために育てる）を掲げ、今までにない世界を生きる生徒たちに、人間ならではのスキルや感性を養う学びを、SSHの豊かな蓄積を基に、さらに深め、高めてゆきたいと思っております。